

I. 学校の現況について

個別指導や丁寧な指導には、適切な規模で良い環境での運営だ。
20周年を迎える時どうなっているか、今から楽しみだ。
今までの学校運営の成果だと、これからも益々の繁栄に期待する。

II. 評価の基本方針について

個々人の特性や長所を伸ばせる取り組みだ。
素晴らしい「評価の基本方針」だ。

III. 重点目標について

(1) 重点目標①

PDCA サイクル習慣の徹底で、重点目標・取組状況、成果・課題・今後の取り組みが明確化されており、教員と学生の円滑な関係性が垣間見えて AMBI が目指す組織運営が構築されつつある。
リーダーシップや多様性を求める部分において、素晴らしい取り組みだ。

(2) 重点目標②

チェックシートを用いての PDCA サイクルを回す取り組みは素晴らしい。ぜひ習慣化して欲しい。

IV. 項目毎の記述について

(1) 教育理念・目的・人財育成像

学生時代にしか培えないものを今後も追及して欲しい。
お客様や商売の概念を育成時代に織り込みすぎると、本当の技術が身に付かない。
卒業してから気付くことも多いので、ここにある方針がいかに関値あるものかを認識させることは重要だ。
教育理念は素晴らしいもので、それに伴った学校理念・目的・育成人材像・育成目標が明確に掲げられている。あとは、運営にあたりその時々細かな部分の調整を行っていけば、より魅力的な学校になる。

(2) 学校運営

学生の自主性を発揮させるには、定めだけでは個人差が生まれる。
個々人の将来の目標を明確化し、逆計算で現時点での自分の立ち位置を教員側が認知し、声掛けすることが大切。
教職員間で打ち合わせを重ねるなど、ラグを無くす必要あり。弊社内での講習でも教える側（スタイリスト）のやり方が違うと混乱するスタッフも多い。共通認識を持つことが大事。
まだ教職員の理念の解釈相違や熱量の違いがあるのか、学生まで浸透せずに結果に結びついていないと推測する。

(3) 教育活動

カリキュラムの履修の意味や意義は個々人で受け取り方が違う可能性はあるが、根気強く頑張っている。
カットデビューとまではいなくても、卒業生を見ていると技術の質が着実に向上しているように感じる。
新カリキュラムを導入したが結果に結びついていないということは、今後の課題だと真摯に受け止めて改善を期待したい。

(4) 学修成果

卒業生と在校生の関係性が活性化していけば、学校運営への助けにもなる。
在学中からアンケートの役割を伝えるなど、「お願いされた時は協力しないと」と思わせるような働きかけをしていくことが大事。
学校側の課題はあるものの、SNS を多用した卒業生との接点を増やしたり、在校生とのつながりを行ったりと一定の評価はできる。
この業界に限ったことではないが、個人的には美容業界の社会性向上へのスピード感を持った変革がない限り、離職率は下がらないと感じている。

(5) 学生支援

現在学生を取り巻く環境は、家庭を中心に多様化している。それに、個別に対応することは、学校運営に大きな負担にもなるが、募集段階でのメリットにもなる。引き続き努力が必要。
保護者とは適切に連携できているものの、学生の意識レベルに差があるため適切な支援ができていないこともあると感じた。より一層学校側のフォローを求めたい。

(6) 教育環境

学校内だけでなく、学校外の地域も一緒に巻き込んで全体的な教育環境を構築していくことで、幅のある教育施設として確立を目指すが良い。
教育環境は十分と言い切れないながらも、試行錯誤を繰り返しながら整備に取り組んでいる部分が見受けられるので今後に期待したい。

(7) 学生の受入れ募集

引き続き、高校や教育機関と連携して安定的な学生確保に努めてもらいたい。
改善方策にあるように、知り合いさえいれば、在校生からの評価（リアルな声）を聞いて進学先を決めると思うので、そういった仕組み作りも大事。
高等学校に対する情報提供が十二分に行われているかという点、まだ少ないように感じるが、成果は出ている。

(8) 財務

借入れがないことは立派だが、優秀な教員確保を目指すのであれば投資も必要である。
予算・収支計画は妥当なものと評価でき、また学生変動や不足の事態に応じた計画も柔軟に対応し、何ら問題はなかった。

(9) 法令等の遵守

社会の流れに沿って、順応していけばよい。
法令、専修学校設置基準の遵守と適切な運営ができていたと一定の評価はできる。

(10) 社会貢献・地域貢献

災害が多い昨今、学校をあげて積極的に災害ボランティアに参加することで教育活動にもなる。
清掃活動や挨拶は、地域の方に好印象なのでぜひ続けましょう。
地域社会に対する貢献は、数は少ないもののしっかり取り組んでいるため、年々地域とのコミュニケーションが構築されている。

V. その他、ご意見等

感染症による不安定な世の中になっているが、学生たちの将来を預かる組織として、毅然として引き続き頑張りたい。
学生との潤滑油となれるようにできる限り協力したい。
今後も時代にマッチした新しい取り組みによる一層の発展を期待する。